

2025年度 群馬大学共同教育学部
学校推薦型選抜・帰国生選抜問題

特別支援教育専攻

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め2枚、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には申し出てください。
3. 受験番号と氏名は全ての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題用紙と下書用紙は持ち帰ってください。

特別支援教育専攻 小論文

以下の文章を読んで、後の問に答えなさい。

現代科学は、実験動物の恩恵を受けて発展してきました。一方で、動物実験に反対する声も多くあります。とくに、遺伝子の操作は“神の領域”と言われ、遺伝子組み換え技術は安易におこなうべきではないという意見もあります。中国では、ヒトの遺伝子を組み込んだサルが誕生したというニュースもあり、世間を騒がせました。

研究に対する倫理は、研究者個人に負っている部分が大きいです。研究者というのはもともと好奇心が人一倍強いために、興味のままに暴走するのでは、という危惧があるのもうなずけます。しかし、研究者は好き放題やっているかということ、じつはものすごい制約の中で研究をおこなっているのです。

日本でも、政府が定めている研究倫理の試験を受講しなければ研究費の申請ができないことになっていますし、動物実験に関する法律が定められており、実験を始める際も終了する際も、決められた書式の書類を提出することが義務付けられています。とくに遺伝子組み換えに関しては厳しく、研究機関内で厳しい審査を何度もパスしないと始められません。パツと思いついたからといってすぐにできるものではないのです。

欧米ではとくに動物の使用の制限が強く、サルなどは年々使用できなくなっているようです。ドイツの大学で医学部の教員をしている友人は、医学生の実習も最近ではコンピューターによるシミュレーションでおこなっていると嘆いていました。

動物愛護法が定めている中で最も重要なのは、「3Rの原則」です。「3R」は、使用する動物の数を減らす（Reduction）、動物に苦痛を与えないような工夫をする（Refinement）、そして、代替方法を検討する（Replacement）ということです。

事前に十分な計画を練って、なるべく最小限の犠牲で実験をおこなう必要があります。論文として投稿する際には、どうしてその数の動物を使ったのか根拠を問われることもあります。さらには、適切な麻酔や薬剤を用いて動物の負担や苦痛を軽減する工夫が求められており、動物がストレスを感じていると判断される場合は、即刻その実験を中止しなければなりません。また、生きた動物ではなくて、培養した組織ではだめかななどを常に自問自答しながら実験計画を立てる必要があります。

出典：脳を司る「脳」、毛内 弘、講談社、2020年（出題のため一部改変）、pp.82-83.

<問1> 動物実験と研究倫理について、筆者はどのように述べているかを300字以内で要約しなさい。

<問2> 大学とは単に学びを享受するだけではなく、自主的に研究を行っていく場と言われており、本学の特別支援教育専攻では卒業研究を行うことになります。障害のある子どもやその家族を対象にした研究を行うときに、あなたはどのような姿勢で臨みますか。あなたの考えを1,000字以内で述べなさい。